

第4回（平成19年度）

日本原子力学会北関東支部 技術功労賞

「第4回（平成19年度）日本原子力学会北関東支部技術功労賞」は、選考委員会の審議を経て平成20年4月4日に全役員の合意により以下の3件の受賞が決定しました。

本賞は、北関東支部管内において原子力に関する研究開発施設やプラントの運転管理、安全確保など技術支援分野において優れた貢献をした個人または団体に対して、その功労をたたえるものです。

受賞者（受賞団体）及び受賞概要

- ・ 宮澤 正孝氏、高橋 邦裕氏、明石 一朝氏、磯崎 孝則氏、田畑 修三氏、
深作 秋富氏、飛田 健治氏、根本 宣昭氏、越後谷 進一氏、五来 滋氏、
北島 敏雄氏、菅野 勝氏、鍋谷 栄昭氏、作田 善幸氏、細川 甚作氏、
後藤 一郎氏

（日本原子力研究開発 原子 施設管理部）
件 JMTR の 40 年にわたる安全運転 技術の開発

（概要） 研究開発 シ に設置されている材 JMTR は、1968 年 3 月の 界
、数々の 設 の開発・設置、 々な原子 の開発に関わる数 の な
、 の成 を積み重 て た。受賞者は 40 年 い 運転を して、JMTR にお
る原子 施設、 設 の運転管理、 にお る技術開発に対して 意 力し業務
を て ており、 れ の成 に 貢献して た。

- ・ 沓掛 忠三氏、田中 滋氏、阿部 雄一氏

（日本原子力研究開発 核 合研究開発部 ）
件 年にわたる核 合 子 学 子 FNS にお る運転保守管理 技術開発

（概要）核 合 子 学 子 （FNS）施設は、日本原子力研究開発 原子力科学
研究 に る 14MeV 子発 装置を 核 する研究施設で り、 れまで核 合
研究分野で世界を する な成 を て た 、核 合 子 学 の 研究の
世界 な 点 して 々な国際 力や、国内の 力研究に されて ており、さ に
原子力の を支える核 研究分野においても の貢献をして た。

受賞者は、装置の 成 26 年 、一貫してその運転保守管理を って ており、
量の 14MeV 子、 ト 、高 、高レベル の くに安
全 適切に対処し、26 年もの にわたり 、人 の を 成している。また、
の技術開発にも め、核 合 子 学 の研究に 貢献して た。

- ・ 岩館 克美氏、菊池 明夫氏、安孫子 庄助氏、寺田 秀行氏、川崎 一男氏、西田 哲郎氏、磯崎 典男氏、大津 健太郎氏、金沢 勇作氏、石山 道氏、金澤 幸一郎氏、根本 勉氏、薄井 正弘氏、他 73 名
 (日本原子力研究開発 核 クル 学研究、及び常 業 ())
 件 年にわたる 内 設 の運転 持管理

(概要) 東海研究開発 シ 核 クル 学研究 では、核 クル 現に
 た幅広い研究開発を進めている。 れ の研究開発業務を展開する原子力施設 では、施
 設の安全確保及び研究開発業務の のために 力、水、蒸気、ガス の各種
 の安定 は、原子力施設の運営に 常に重要な役割を占めている。
 受賞者は、 内の約 120 を超える 設 の運転 持管理を担 しており、数
 の関係法規制を順守しながら 各種 を安全 安定して しており、約
 40 年の 年に亘り 24 時 体制で運転管理業務に取り組んで ており、 内原子力施設 の
 安全確保はもちろんのと 核 クル 学研究 にお る数々の研究開発の成 に
 な貢献を たした。

